

授業科目

心理学II

担当教員名 松本 京介	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

授業の概要

本授業では、発達と臨床に焦点をおき、心理的支援の方法と実際について理解を深めていく。発達については、ピアジェ、フロイト、エリクソンの理論について学ぶ。そして、誕生から死を迎えるまでの各時期の精神発達の特徴と心理的問題について保健医療福祉の現場における事例をもとに認識を深めていく。また、日常生活とところの健康について、特に、ストレスやトラウマの影響による心理的問題についても認識を深めていく。そして、それらの問題に対する心理的支援の方法と実際について複数の立場を対比しながら理解を深めていく。さらに、心理検査の効用と限界、実施にあたっての留意点についても必要な知識を身につけていく。

授業の目的

「心理学I」で修得した学習内容を基に、「心理学II」では、発達と臨床に焦点をおき、心理的支援の方法と実際について理解し、さらに専門的な心理学の知識を身につける。

学習目標

1. 「心理学I」で修得した心理学の基本概念を応用し、人間の心理的問題について具体的に述べることができる
2. 生涯発達の観点から、各時期の精神発達の特徴と心理的問題について説明できる
3. 心理的支援の方法について複数の立場を対比することができる
4. 日常生活とところの健康との関係について説明できる
5. 心理検査の効用と限界、実施にあたっての留意点を説明できる
6. 保健医療福祉の現場における心理的支援の必要性と倫理の重要性について説明できる
7. 死にゆく人のところとからだのしくみについて説明できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	発達の概念1 精神発達とは	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
2	発達の概念2 ピアジェの発達理論	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
3	発達の概念3 フロイトの発達理論	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
4	発達の概念4 エリクソンの発達理論	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
5	人の成長と発達1 思春期・青年期の発達1	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
6	人の成長と発達2 思春期・青年期の発達2	講義 (参考書1『発達の概念』参照)
7	人の成長と発達3 思春期・青年期の心理的問題1	講義・ビデオ (参考書1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照)
8	人の成長と発達4 思春期・青年期の心理的問題2	講義・ビデオ (参考書1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照)
9	人の成長と発達5 乳幼児期・児童期の発達とその障害	講義 (参考書1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照)
10	人の成長と発達6 成人期・壮年期・高齢期の発達と心理的問題	講義 (参考書1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照)
11	人の成長と発達7 心理検査	講義・実習・ビデオ (参考書1『性格』『発達の概念』『知能』参照)
12	日常生活とところの健康 ストレスとコーピング	講義 (参考書1『適応とストレス』『脳と心』参照)
13	心理的支援の実際1 PTSDとその支援、子ども虐待とプレイ・セラピー	講義・ビデオ (参考書1『適応とストレス』『面接・見立て・心理療法』参照)
14	心理的支援の実際2 子どもを抱える環境とところの発達	講義・ビデオ (参考書1『発達の概念』『面接・見立て・心理療法』参照)
15	まとめ	講義

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	医療心理臨床の基礎と経験	馬場謙一	日本評論社	2010年	2,600円+税	
参考書	心理学理論と心理的支援 最新版 (参考書1)	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規		2,200円+税	
	スクールカウンセリングの基礎と経験 (参考書2)	馬場謙一、松本京介	日本評論社	2008年	2,500円+税	
その他の資料	適宜プリントを配布する。					

評価方法

毎回のコメントシート (15%)

小レポート (5%)

期末試験(80%)

履修上の留意点

多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。十分に予習・復習をすること。また、心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がないようにしてもらいたい。

オフィスアワー・連絡先

前期：水曜 2限、昼休み

後期：火曜 2限、昼休み

E310 (研究棟)

matumoto@nuhw.ac.jp